

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人元気寿会)
 介護事業所名 (ショートステイ葉栗の郷)
 介護保険事業所番号 (2372202081)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	入浴支援
	②介護ロボットの製品名	リフト付きシャワーキャリー「LS-500」 LS専用レール「LTB-100」

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年11月30日	1台	令和4年11月30日	

1) 事業概要及びスケジュール

浴室の洗い場から浴槽への入浴移乗介助に介護ロボットを活用することで、介護職員の移乗介助における負担軽減と腰痛予防、利用者の身体的負担及び不安感の軽減を図る。
 【導入スケジュール】
 補助金交付申請→補助金交付決定→購入 (決定) →納品 (受注後順次) →使用前研修→使用

(2) 導入する意義・目的

介護ロボットの導入により、職員の身体的負担の軽減や介助中の介護事故への不安 (精神的負担) が軽減されます。利用者もまた職員に対する介助への不安が軽減できます。介護ロボットを活用することで介護は重労働であるという思いを払拭し、介護ロボットは介護現場にとって欠かせないものであると職員が再認識し積極的に活用、導入して行くように意識を高める。

3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・介護職員や利用者にとって介護ロボットが安全で使いやすい機器であることを浸透させる。
- ・機器を使いこなすことで複数職員で移乗介助を減らし、入浴介助以外のケアの充実を図る。
- ・介護職員の入浴介助時の腰痛予防及び腰痛による離職を防止する。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・二人介助が必要な利用者に対して、機器を活用することで一人介助が可能となる。
- ・浴室洗い場から浴槽への移乗の際に、介護職員のふらつきによる入居者の転倒など事故のリスクを軽減できる。
- ・介護ロボットの活用により腰痛予防の普及に努め離職率を低減し、他施設との差別化を図ることができると期待される。
- ・介護ロボットの導入は、職員の介助負担軽減を重要視した施設の取り組みであり、職員採用に効果が期待される。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

見守りセンサーの製品名			
-------------	--	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

ICT機器の製品名			
-----------	--	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

介護記録ソフトの製品名			
-------------	--	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制			
----------------------------	--	--	--

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

--	--	--	--

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

--	--	--	--

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社クレイドル)
 介護事業所名 (グループホームいせ木)
 介護保険事業所番号 (2397400017)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	入浴支援
	②介護ロボットの製品名	リフト付きシャワーキャリア「LS-310」 LS専用レール「LTA-100」

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年3月30日	1	令和5年3月15日	

(1) 事業概要及びスケジュール

浴室の洗い場から浴槽への入浴移乗介助に介護ロボットを活用することで、介護職員の移乗介助における負担軽減と腰痛予防、入居者の身体的負担及び不安感の軽減を図る。

<導入スケジュール>

補助金交付の申請→補助金交付決定→購入(決定)→納品(受注後順次)→使用前研修→使用

(2) 導入する意義・目的

グループホームもみの木は、開設から20年経過し、設備の老朽化及び利用者ニーズに対するサービスの選択肢が限られている。今後も変わらず地域社会に貢献できる施設を目指すため、入居者の様々なニーズ及びADLに対応した施設であることを目指す。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

入居者のADLに応じた介護とは、具体的には、拘縮及び萎縮や筋力低下、他には骨折等により入浴動作に伴う立ち上がり及び浴槽またぎが困難な状態や加齢及び疾患等により体力低下が起きている利用者及びこれから入居を検討する利用者に対して入浴の機会を維持することにある。また、介護従業員が二人がかりで浴槽の出入りや見守りをおこなうことでの心身の負担を軽減、腰痛予防をすることが可能となる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・利用者の入浴の機会の維持・確保し清潔の保持、気分転換等が期待される。
- ・リフト・ストレッチャーにより移乗及び移動動作が容易となり利用者に対して安心感、安全に介助を行うことが可能となる。
- ・介助者の腰痛予防、利用者へのケガ等の介護事故予防、それに対する心的ストレスの軽減
- ・認知症だけでなく身体的ケアが必要とされる方の受入れ間口を広げる事で地域社会に貢献する。

(5) 適用を受けようとする補助率

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	
----------------------------	--

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

--

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

--

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 愛礼会)
 介護事業所名 (団欒の家ゆきおろし)
 介護保険事業所番号 (2392200198)
 サービス種別 (認知症対応型通所介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	入浴支援
	②介護ロボットの製品名	wellsリフトキャリー

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月1日	1台	令和5年2月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

入浴時に介護ロボットを活用することで、移乗介助における介護職員の腰痛予防と利用者様の身体的負担の軽減を図る。

(導入スケジュール)

補助金交付申請→補助金交付決定→購入→納品→使用前研修→使用開始

(2) 導入する意義・目的

入浴介助における浴槽と洗い場の移乗介助は、介護者の腰への負担が大きく、また利用者にとっても転倒リスクが高い。リフトキャリーを使用することで介護者の負担を軽減し、安全な入浴を提供することを目的とする。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・ 職員の入浴介助時の腰痛を予防し離職率5%を低減させる。
- ・ 機器を使い効率的な介助を行い介護時間が短縮されることで、入浴介助以外のケア (日々のレクリエーションやリハビリ) の充実を図る。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・ 職員の入浴介助時の負担軽減
- ・ 利用者の入浴時の負担軽減
- ・ 利用者の満足度向上
- ・ 入浴介助時の介護大員の効率化

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 瑞穂会)
 介護事業所名 (小規模特別養護老人ホーム第二やはぎ苑)
 介護保険事業所番号 (2392100182)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	入浴支援
	②介護ロボットの製品名	リフト付きシャワーキャリー LS-550

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月1日	1台	令和5年1月20日	

(1) 事業概要及びスケジュール

入浴支援の介護ロボットを導入することで、今まで寝浴でしか対応できなかったご利用者にも、安全に、また安心して個室にお入りいただけるようになると共に、介護職員にとっても身体的・精神的負担を軽減することで、ケア全般の質を高めるための環境を整える。

<スケジュール>

令和4年7月デモ実施済 ⇒ 補助金交付申請・決定 ⇒ 購入契約・搬入 ⇒ 職員向け使用研修 ⇒ 導入 ⇒ 評価

(2) 導入する意義・目的

普通個室での入浴に不安がある方は、寝浴で対応せざるをえなかった。今回の入浴支援介護ロボットを導入することで、寝浴対応の方の半数程度は、普通個室に近い環境での入浴が可能になり、ご本人にとって安心して入浴をしていただけるようになる。併せて、介護職員の身体的・精神的負担の軽減にもつながり、入浴以外のケアも含めて、より質の高いケアを提供していくことができる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・寝浴対象者 (6割) を半減する。
- ・ご利用者および職員の双方が、精神的なゆとりを持つことで、入浴中の声掛けや会話が增える。
- ・介護職員の腰痛を予防し、腰痛など身体的負担による離職を防止する。
- ・フロアの職員を何度もヘルプで呼ばなくても済むようになり、フロアでのケアの質が向上する。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・介護事故リスク (転倒や怪我等) を軽減し、また事故に対する不安を軽減する。
- ・普通個室では不安がある方は寝浴で対応するしかなかったが、介護ロボット導入により、普通個室に近い環境での入浴対応を継続することができる。
- ・職員の身体的負担 (特に入出浴時の移乗や浴槽内での姿勢確保に対する負担) や、精神的負担 (時間に追われながらの高負荷な介助、フロア職員を何度も呼ばなければならない負目) を軽減することができる。
- ・職員の負担軽減により、ケア全般の質の確保や、離職防止につなげる。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」

（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

ICT機器の製品名

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

介護記録ソフトの製品名

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名（株式会社イズミ）
 介護事業所名（グループホームくつろ樹）
 介護保険事業所番号（2370300838）
 サービス種別（介護予防）認知症対応型共同生活介護

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	入浴支援
	②介護ロボットの製品名	Wells リフトキャリア-WLC-200

導入時期（予定）	導入台数	購入日（予定）	リースの契約期間（予定）
令和5年2月28日	1台	令和5年2月28日	

（1）事業概要及びスケジュール

浴室内（脱衣室、洗い場、浴槽）での移乗介護、入浴介助の為に介護ロボットセキスイWellsリフトキャリア-WLC-200 1台を導入する。介護職員の職業病である腰痛の予防と入居者様職員双方の身体的精神的負担の軽減を図り、安心安全な入浴を実現する。

導入スケジュール

事前協議書提出⇒補助金交付申請⇒補助金交付決定⇒機器発注⇒納品⇒入浴業務担当の職員に対する使用方法の説明会、入浴介助に関するカンファレンス⇒使用開始

（2）導入する意義・目的

脱衣室、洗い場、浴槽など浴室内における移乗介助、入浴介助における ①入居者様の身体的・精神的負担の軽減と浴槽にしっかりつかる事による入浴効果の向上の為 ②介護職員の入浴介助時の精神的肉体的負担の軽減、腰痛予防の為 ③ロボット導入による介護業務の効率化、離職率の低減、定着率の向上の為

（3）介護ロボットの導入により達成すべき目標（導入後3年間）

- ・現状入浴介助時に二人介助が必要な入居者様への介助が機器の活用により、一人での介助が可能となり業務の効率化を図る。入居者様一人当たりの介護職員2名⇒1.5名 入浴介助時間20%削減
- ・認知症の入居者様の入浴介助時の身体的負担や事故のリスク、不安不穩の軽減が図れる。
- ・機器の活用により、介護職員の腰痛予防含む身体的負担の軽減が可能となり、離職率の低減、定着につなげることが出来る。

（4）介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・業務の効率化を図る事により、介護職員がより入居者様に寄り添った介護の時間が確保される。
- 介護ロボットの導入により介護職員のマンパワーに頼る事のない介助を行う事で認知症入居者様の身体的負担、精神的不安不穩の軽減を図る事が期待できる。
- ・介護職員の負担軽減により離職率の低下、定着率の向上が期待できる。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

--

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

--